

## 菌類に魅せられて20とウン年

千葉大学大学院医学薬学府 大堀陽

わたしと菌類とのつきあいは案外長い。長く仙台に住んでいたが、子どもの頃からロクショウ(ハツタケ)アミコ(アマタケ)キンタケ(シモコシ)を採りに海岸の松林にきのこの好きの父親と出かけていた。その頃はきのこには興味はなかったが、小学5年生頃目覚めた。ある時公園で野球をしていたのだが、チームの大穴たるわたしは、めったに球が行かないという理由で外野を守らされていた。しかし大きな当たりが出てグラブを構える間も無く柵をこえ、斜面の松林に入ってしまった。仕方なく球を追うと何かきのこが生えているではないか。裏面がひだじゃなかったのがアマタケの仲間だということは分かった。これがきのこを意識したはじまりで、家に帰ってから図鑑を調べるようになった。わたしがきのこに興味を持ったことを知った父親は、それまであまり行かなかった雑木林やブナ林にも行くようになり、わたしもついていった。そして図鑑と照らし合わせてきのこを覚えていった。

しかし菌類について本格的な勉強をはじめたのはつい最近のことである。それまでずっと仙台から離れる事はなかったのだが、修士課程を終わって千葉大学真菌医学研究センターで非常勤職員の募集があり、千葉に移住した。同センターで病原菌としての菌類を見るうちに菌類全体に対する興味がわいてきて、博士課程に進学し引き続き同センターで研究を行って現在に至る。菌類談話会に参加したのは今年になってからだが、当地の珍しいきのこを知ることができ、



美月ちゃん、しばらく見ないうちにすごりしくなりました？

また知識を深める上で大いに助かっている。

わたしはきのこのグッズを集めるのも好きで、パルコなどに出かけては女性向けの雑貨屋に入り浸っている。店員には贈り物でずかと尋ねられるが、自宅用だと答えると、決まって意外な顔をされるものだがもう慣れてしまった。こうして集めたきのこのグッズはHPで公開している。Akasa というページ(<http://f47.aaa.livedoor.jp/~casadana/index.php>)で、ここでは「あかさたーな」と名乗っている。きのこのグッズだけでなくしりとりなどの言葉遊びや、かびアイコン、実物のきのこの写真、きのこ和書の情報なんかもある。ほかのきのこのサイトに比べて中途半端な感じもするが、自分なりの菌類の情報を発信中ではある。サイトともども今後ともよろしく願いいたします、ということで筆を置く。